



碌山美術館報

第 44 号

令和 6 年 3 月 25 日 発行
編集 (公財) 碌山美術館
発行 〒399-8303 長野県安曇野市
穂高5095-1
TEL 0263-82-2094
FAX 0263-82-9070
<http://www.rokuzan.jp/>
印刷 信教印刷(株)



荻原守衛「スケッチ」(スケッチブックⅢより) 1910年頃、19.7×26.5cm

荻原守衛のスケッチ

右には、ひざまずき両腕を挙げ丸いものを持つ中腰の女性、左には、男性の頭部を掲げ口づけようとしている女性が描かれている。

このスケッチは、サロメが洗礼者聖ヨハネの首に口づけする彫刻の構想と当館では長らく考えてきた。

新約聖書に記された「洗礼者聖ヨハネの斬首」を蠱惑的に翻案した十九世紀末のオスカー・ワイルドの戯曲『サロメ』の誕生から一九一三年の島村抱月の芸術座による上演は、ちょうど荻原の活動期を内包する。荻原は《女》と相前後して「洗礼者聖ヨハネの斬首」を念頭に置いた《銀盤》を制作している。ロダンの同主題作品とともに『サロメ』との文脈で解釈される作品だ。

碌山忌に行なわれた布施英利先生の講演(本号の講演録を参照)での、《女》は当初腕を上にあげる像として制作されていたとの解剖学的見地からの推察は、大変興味深い。

学芸員 武井 敏